



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

果菜苗の作り方と選び方

苗作り中の管理のよしあしが、植え付け後の生育に大きく影響します。果菜類では、苗作り中に花芽分化が起こり、栄養生長と生殖生長が同時に進みます。葉菜類では種まきの時期によってはとう立ちが問題となり、収穫の成否に影響します。

「育苗用土の条件」

- ・限られた用土で良い苗を作るためには、良い用土（培土）が必要です。水はけ（排水性）が良く、水持ち（保水性）、肥持ちに優れること。
- ・生育に必要な肥料養分をバランス良く含み、酸度は弱酸性〜中性（pH5.8〜7.0）であること。
- ・病原菌、害虫、雑草種子を含んでいないこと。
- ・土質が均一で安価、しかも入手しやすいこと。

なお、良質な床土の材料には落ち葉、稲わらなどの有機物が必要ですが、身近にない場合や少量の苗作りでは、市販品の利用が便利です。これらの用土は、組成が均一で病害虫の心配がありません。

「苗作り中の管理」

(1) 温度

果菜類では生長促進と花芽を作

野菜作りは苗半作

るために、やや高温で管理します。果菜類の苗作りは気温の低い季節となるので、暖かい場所やトンネル内の育苗にします（表1）。

(2) 光

苗作りでは十分な光が必要です。春夏の苗作りでは光が強過ぎ、日焼けを起こしたり、しおれが生じる場合は、寒冷しゃなどで遮光します。生育に応じて苗間を広く取り、理想的には互いに葉先が触れ合う程度に広い間隔を取ると良いでしょう。

(3) 水分

セルトレーやポット育苗では用土が少ないため、頻繁に灌水（かんすい）が必要になります。用土の乾き具合を灌水の目安にしますが、ナス、ピーマン、キュウリでは灌水量はやや多めに、メロン、トマトではやや少な

めに灌水します。しかし、苗作りの後半には、苗の徒長を抑えるためにやや乾燥気味に管理します。

(4) 慣らし

植え付け前に外気に慣らすことを馴化（じゅんか。※順化とも）といいます。手入れの行き届いた環境から気象の影響の大きい畑に植え付けるため、1週間前くらいから、土を乾き気味にして、十分に光を当ててやります。

(5) 植え付け

果菜類は晩霜の恐れのない時期（平均気温16、17度以上）を目安に、逆算して播種（はしゅ）日を決めます（表2）。

図1 良い苗の選び方(例 トマト)



表1 主な果菜類の育苗温度(目安)

野菜名	最高限界(度)	日中(度)	夜間(度)	最低温度(度)
トマト	35	20~25	8~13	5~8
ナス	30~40	23~28	15~18	10~15
ピーマン	32~35	25~30	15~20	12~15
キュウリ	35	18~25	12~15	8~12
スイカ	35	23~28	13~20	10~13
メロン	35	20~25	10~15	8~10
カボチャ	28~35	20~22	10~15	8~10

※参考: 野菜類(野菜栽培) 農研機構

表2 主な果菜類の育苗日数 ※

野菜名	種まき時期	育苗日数	苗の大きさ(本葉数)
トマト	3月上旬~	60日前後	7, 8
ナス	2月下旬~	80~90日	10~12
ピーマン	2月下旬~	80日前後	10~12
キュウリ	3月下旬~	30日前後	2, 3
スイカ	3月下旬~	30日前後	4, 5
メロン	3月下旬~	30~35日	3, 4
カボチャ	3月中旬~	30日前後	3, 4

※中絶後の例 参考: トマト(種苗)ウェブサイト(家庭菜園 野菜栽培マニュアル)

「良い苗の選び方」

- 良い苗を購入するには、次の点に注意して選びましょう。
- ・子葉が付き、茎が太く、節間が詰まって下葉は厚く、緑が濃くがっしりしているもの。
 - ・病気や害虫が付いていないもの。
 - ・トマトやナスでは、膨らんでいるつぼみが見えるもの。
 - ・トマト、キュウリ、ナスなどの接ぎ木苗は病気に強い台木が使われているので、値段が少々高くても作りやすい。
 - ・ポット苗では根が発達し、根鉢が完成しているもの(図1)。

園芸研究家 ● 成松次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。



1月・2月の柑橘園管理



果樹
原口 悠貴
下島営農指導センター
080-2725-7775

1. 中晩柑の収穫と予措・貯蔵 腐敗果防止の為、収穫時は果実にキズをつけないよう丁寧に扱い、下の表を参考に予措を実施しポリ個装を行ってください。家庭で貯蔵する場合は、乾燥しすぎに注意して下さい。

品種名	予措目安期間（収穫直後からの減量割合）	予措中湿度
デコボン	14日（3%程度）	85～90%
ボンカン	14日（3%程度）	85～90%
甘夏	14日（3%程度）	90%

2. 土づくり 良い作物作りはまず健全な土づくりから始まります。下記の表は10a当たりの目安量となりますので、表の基準を参考に投入してください。

時期	資材名	10a当たり	備考
2～3月 (収穫後)	堆肥	2,000kg	完熟物
	客土	4,000kg	3cm以内
	ヤシガラ	20袋以上	2キュービック（120ℓ／11kg）
	土の恵み	12袋以上	堆肥・ヤシガラの代わり
	天然フルボ酸（粒）	3袋	ミネラルバランスの調整

3. 樹勢回復対策 収穫が終わった園では速やかにチッ素主体の葉面散布を行い、樹勢回復を行って下さい。

薬剤名	希釈倍数	備考
尿素 又はニューアミノジューシーN14 又は神協スピリッツ	500倍	収穫後3回以上集中散布を行きましょう。

4. 施肥

時期	資材名	対象品種	10a当たり	備考
2月上旬	炭酸苦土石灰	全品種	10袋	
	新有機中晩柑一発	河内晩柑・清見・甘夏 パール柑・デコボン	10袋	超省力化タイプ（年1回施肥） （11月に施肥をしている場合は2袋減）



灰色かび病について



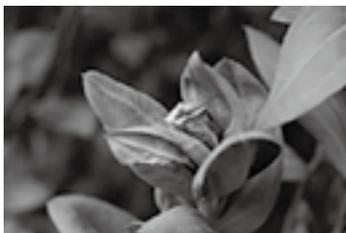
花卉
竹川 慶剛
上島営農指導センター
080-1729-1637

・発生の特徴

灰色かび病は寄生範囲が広く、ほとんどの植物で発生します。低温多湿を好むので秋口～冬の初め頃の気温がやや低く、湿度の高い、雨が多くて日照が不足しがちな時期に発生が多くなります。発病適温は15℃～20℃で結露時間が長くなると多発し、植物体表面やその付近が結露しやすい環境下で発生しやすい。

・被害症状

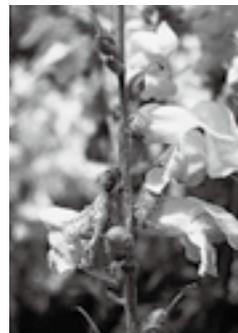
花、茎、葉が溶けるように腐り、さらに病気が進行すると灰色のカビに覆われ、同時に灰色がかった粉（孢子）を多量に形成します。花では始め、花卉に水滴がにじんだ様な跡がつき、白い花では赤い斑点、色のついた花では白い斑点が多数生じます。病気が進行すると花が褐色になり腐ってきて、やがて灰色のカビに覆われます。



トルコギキョウ被害



スターチス被害



金魚草被害

・防除方法

灰色カビ病は湿度を好むので水のやりすぎに注意し、なるべく晴天時に行います。そしてハウス内は風通しをよくして十分な換気をします。枯れた部分にも病原菌が残っているので取り除きます。病原菌は害虫の食害跡や、しおれた花卉、チッソ過多により軟弱に育った植物組織などから侵入するので害虫を防除したり、肥培管理を適切にすることも予防できます。殺菌剤ではフルピカフロアブル、ポトキラー水和剤、エムダイファー水和剤、ポリオキシンAL水和剤等が花き類での登録があり、なるべく同じ剤は使わないようローテーションでの散布を1週間～10日おきに散布し予防します。

※農薬散布に薬害などありますので営農センターへお問い合わせください。